

# 共産党的なブラック企業対策



これが眞の「働き方改革」だ

**月100時間 残業 「電通レベル」容認  
自民党働き方改革の危険**

世論に押され、ようやく自民党も対案を出した。ところが…。その内容はきわめて危険。

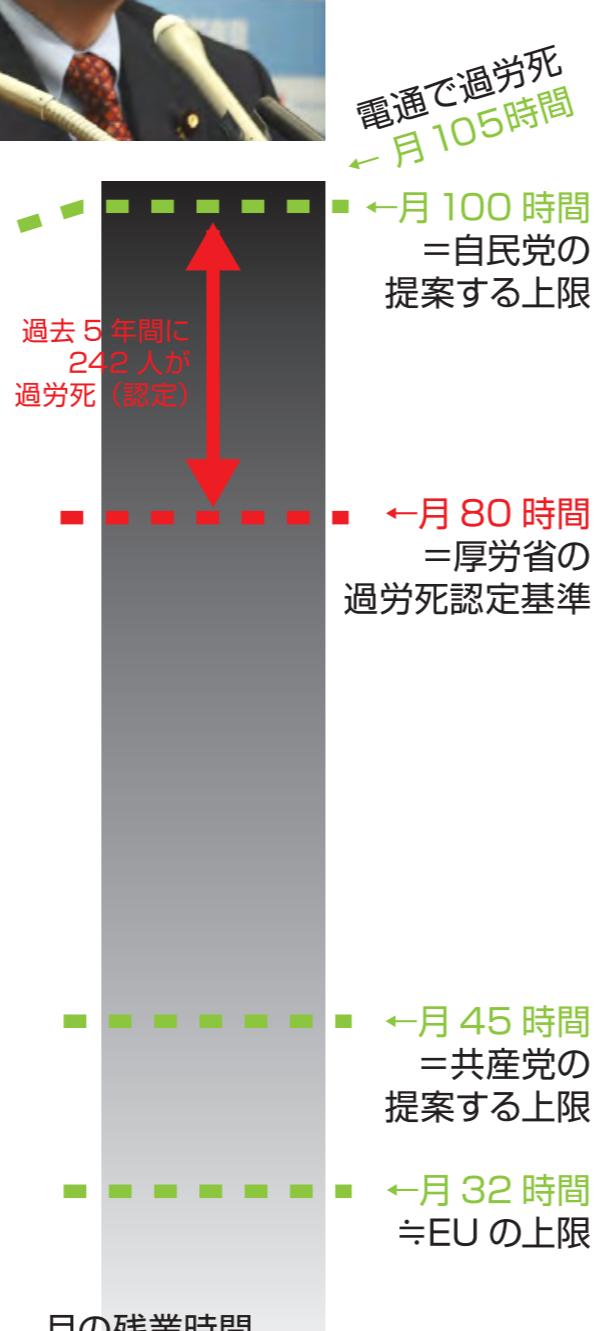
「過労死させよ!という法案だ」「絶対に納得できません」—電通で過労死した女性の遺族も、厳しく抗議する声明を出した。

自民党は、この法案を次の国会で成立させようとしている。10月22日の審判が重要だ。

**1. 残業は月100時間までOK**  
残業の上限は「月100時間未満」。厚労省の過労死認定基準（月80時間）を超える残業が合法化されてしまう。

**2. 残業代ゼロの新制度**  
年収1075万円以上の労働者に「いくら残業しても残業代なし」の新制度をつくる。年収要件の引き下げも検討。

**3. 「定額働きかせ放題」制を拡大**  
1日に何時間働くかが賃金を定額にできる制度も拡大。こちらは年収の要件もない。



ワタニ、すき家、電通…。国会で、企業名をあげてブラック企業を追及してきた共産党が提案する「ブラック企業規制法案」に注目が集まっている。残業は年360時間、月45時間法定上限に。サービス残業には「残業代2倍」の罰則を。この法案が成立すれば、私たちの働き方は一変するだろう。自民vs共産の「働き方」対決、10月22日の大争点だ。

**共産提案の最大のポイント**

ヨーロッパでは5時帰宅が当たり前なのに、日本ではブラックな働き方が蔓延。どうしてこんなに違うのだろうか。共産党の「ブラック企業規制法案」（2013年国会提出）は、その根本にメスを入れている。キーワードは「労働時間の上限規制」だ。

日本には、いまだに労働時間の法定上限がない。企業が労働者と協定さえ結べば、何時間でも働かせていい。（ここにヨーロッパとの決定的な違いがある。）「残業は月45時間・年360時間まで」「退社から次の出社までのあいだに最低11時間の休息を」とこれが共産党の提案だ。その現実性は、すでにヨーロッパで証明されている。



電通で過労死した女性（24歳）の残した声  
—本人ツイッターより  
(いずれも2015年)

- 10/13 「休日返上で作った資料をボロボロに言われたもう体も心もズタズタだ」
- 10/14 「眠りたい以外の感情を失った」
- 10/21 「もう4時だ 体が震えるよ… しぬ もう無理そう つかれた」
- 10/30 「部長『君の残業時間の20時間は会社にとって無駄』…『今業務量で辛いのはキャバがなすぎる』」
- 11/5 「土日も出勤しなければならないことがまた決定し、本気で死んでしまいたい」
- 11/10 「毎日の日が来るのが怖くてねられない」
- 11/12 「がんばれると思っていたのに予想外に早くつぶれてしまって自己嫌悪だな」
- 11/18 「毎日起きたくない?」「失踪したくない?」
- 12/9 「1日の睡眠時間2時間はレベル高すぎる」
- 12/20 「男性上司から女子力がないと言われる、笑いを取るためのいじりだととても我慢の限界である」
- 12/25 自殺

## Voice 10代20代に聞く〈10月22日〉の選択

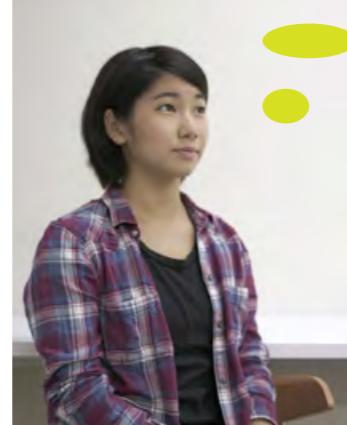
### 国民が無視されている



自分の都合で解散したり、急に改憲を言いだしたり…。森友・加計学園もうやむや。安倍首相のやりたい放題、国民が無視されてませんか？

メディアからも  
「保身のために解散権を私物化」（朝日新聞）  
「国民が見くびられている」（毎日新聞）

### 大学無償化、財源は？



学費を下げるために消費増税と言いますが…。これで負担の名前が変わっただけで、苦しいことには変わらないです。

共産党の提案  
法人税減税の見直し、超富裕層への課税、無駄カットなどで約22兆円の財源ができる。消費税増税は中止。

### 憲法改正の動きが心配



自民党も、希望の党も、「憲法改正」推進。安保法制に賛成。とても危険だと思います。首相の「2020年改憲」計画、絶対阻止したい。

希望の党の顔ぶれは  
極右政党「日本のこころ」の元首、元自民・元民進の改憲派…。安倍首相も「基本的な理念は同じ」と評価。

### いま伸びている共産党

